

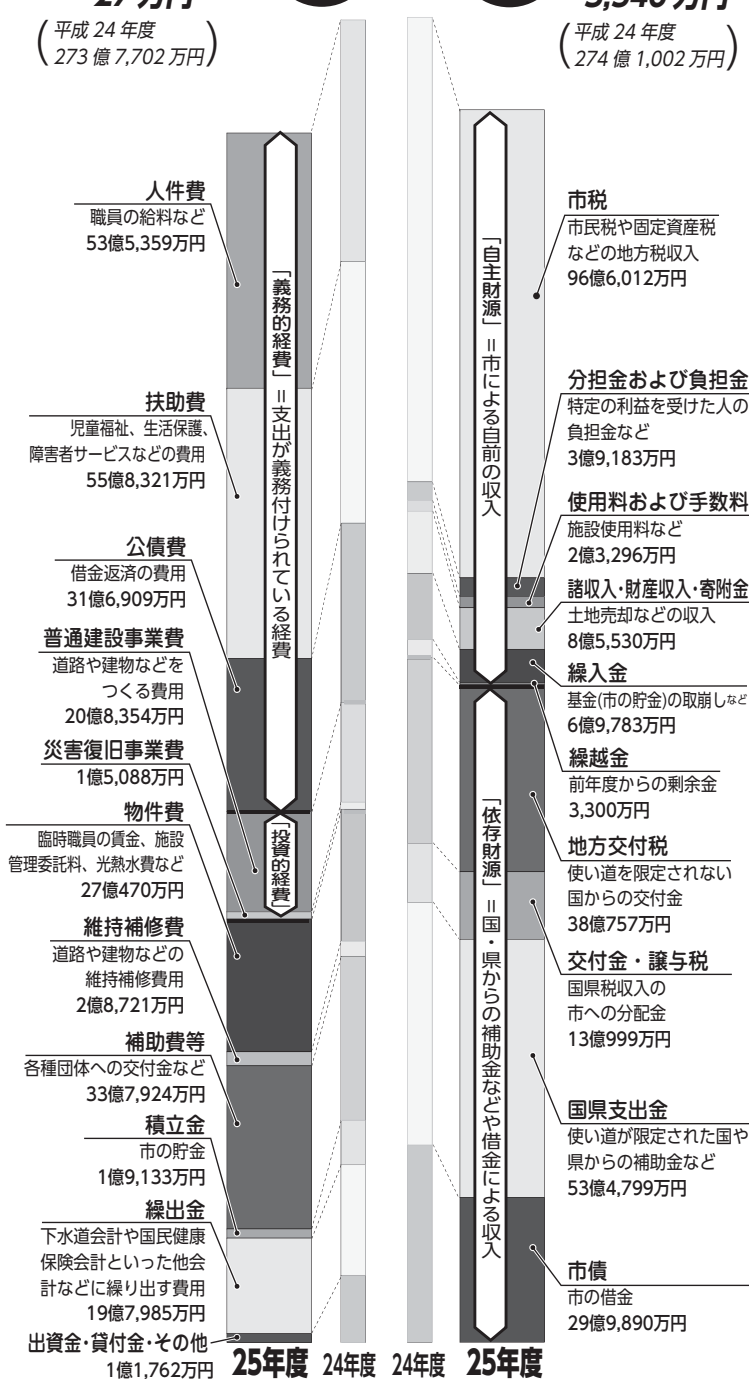
特集 検証 平成25年度決算からみる財政状況

2～5ページで表記している金額は、表示単位未満を四捨五入しています。そのため、合計が合わない場合があります。

一般会計実質収支

歳入歳出差引額 翌年度繰越財源
3億2,804万円の黒字 (3億3,519万8千円 - 715万8千円)

250億 歳出 (平成24年度 27万円) (273億7,702万円)
253億 歳入 (平成24年度 3,546万円) (274億1,002万円)



平成25年度一般会計、特別会計、企業会計の決算が、市議会9月定例会で認定されました。平成25年度は、一般会計、特別会計ともに黒字決算としましたが、市の貯金である基金が枯渇するなど、依然として厳しい財政状況にあります。今号では、平成25年度決算や市の財政状況についてお知らせします。

- 財政経営室 63-7403
- 行政改革推進室 63-7302
- 上下水道部経営総務室 63-4114
- 市立病院経営総務室 61-1100 (代表)



平成25年度決算 検証1 一般会計歳入

総額 253億 3,546万円

歳入総額は、平成24年度に比べ、20億7,455万円の減となりました。

【自主財源】(市による自前の収入)が13億5,012万円の減となりました。不動産売却収入の減などにより、財産収入が5億7,415万円の減。また、財政調整基金をはじめとする基金の枯渇により、繰入金金が6億7,086万円の減となったことが主な要因です。

【依存財源】(国・県からの補助金などや借金による収入)が7億2,443万円の減となりました。平成24年度の土地開発公社清算に伴う第三セクター等改革推進債(12億3,700万円)が全額減となったことなどが主な要因です。

平成25年度決算 検証2 一般会計歳出(性質別)

総額 250億 27万円

歳出総額は、平成24年度に比べ、23億7,675万円の減となりました。積立金が7億2,900万円の減となったほか、平成24年度の土地開発公社清算に係る補償補填費(12億3,700万円)が全額減となったことなどが主な要因です。

【義務的経費】が9,241万円の減となりました。退職者数の増に伴い、退職手当などの人件費が2億6,190万円の増となった一方、中央西土地区画整理事業に伴う地域開発債の償還費減などにより、公債費で5億4,225万円の減となったことが主な要因です。

※(〜)内は市の区分です。家計の項目に沿って表現したため内容が異なる場合があります。表示単位未満を四捨五入しています。

■ 支出 51万8千円		■ 収入 52万5千円	
◎食費<人件費>	11万1千円	◎給与<市税>	20万円
◎医療費<扶助費>	11万6千円	◎パート・家賃収入<分担金および負担金、使用料および手数料、諸収入・財産収入・寄附金、交付金・譲与税>	3万1千円
◎ローンの返済<公債費>	6万6千円	◎親からの援助<地方交付税・国県支出金>	21万7千円
◎家の増改築<普通建設事業費、災害復旧費>	4万6千円	◎預貯金の取り崩しや独立した子どもからの借り入れ<繰入金>	1万4千円
◎光熱水費<物件費>	5万6千円	◎住宅のローン借り入れ<市債>	6万2千円
◎家や車の修理代<維持補修費>	6千円	◎先月からの繰越金<繰越金>	1千円
◎預貯金<積立金>	4千円		
◎子どもへの仕送り<補助費等・繰出金>	11万1千円		
◎雑費<その他>	2千円		

家庭の収支と市の財政は、規模もお金の使い方も違うので、単純に比べることはできませんが、平成25年度市税収入96億6012万円を、給与20万円に換算し、その割合で他の項目も置き換え、「なばりさん」の家計に例えてみました。

なばりさんちの家計簿

平成25年度一般会計決算を家計に例えると…

欲しいものも買うことを控えたり、独立した子どもからお金を借りたりして、なんとかやりくりしました。

なばりさんちでは、家族で稼いだお金(市税など)だけでは、生活していけません。親からの援助(地方交付税など)や借金(市債)がどうしても必要な状況です。
給与などが減り、そして親からの援助増額を期待できないことなどから、今まで貯めていた預貯金の取り崩しや、独立した子どもからお金を借りて(繰

入金)生活費にあてるなど、なんとか収入を確保しました。
また、支出では、食費(人件費)や医療費(扶助費)、ローンの返済(公債費)、子どもへの仕送り(繰出金)など、どうしても出費しなければならないものがほとんどでした。家計には余裕がなく、買おうと思っていたもの我慢して、なんとかやりくりしました。



用語解説

一般会計・企業会計 特別会計・普通会計

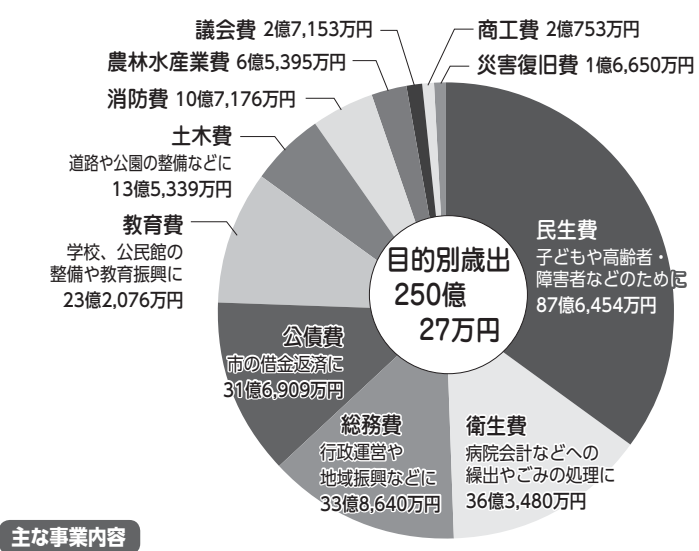
- ▼「**一般会計**」…教育や福祉、道路の整備など、行政の基本的な事業を実施していくための会計で、市の会計の中心となります。
- ▼「**企業会計**」…病院や水道など民間企業と同じように、事業の収益でまかなわれる会計です。
- ▼「**特別会計**」…国民健康保険税や介護保険料など特定の収入があって、一般会計と財布を分けることで、収支をはっきりさせている会計です。
- ▼「**普通会計**」…自治体間で財政状況を比較できるように、統一的な基準で整理した会計です。名張市では、一般会計に、住宅新築資金等貸付事業特別会計、東山墓園造成事業特別会計を合わせたものを普通会計としています。4ページの検証4にある「経常収支比率」などは、この普通会計で算出しています。

財政を知るキーワード

平成25年度決算 検証 3

どんな目的でお金を使ったの？

一般会計 目的別歳出と主な事業内容



主な事業内容

- 民生費**
- ▼障害者自立支援費 …13億7,689万円
 - ▼介護保険特別会計繰出金 …7億9,912万円
 - ▼児童手当等給付費 …13億394万円
 - ▼生活保護扶助費 …7億198万円

- 衛生費**
- ▼病院事業会計繰出金 …14億8,830万円
 - ▼伊賀南部環境衛生組合分担金 …12億2,233万円
- 総務費**
- ▼地域ビジョン推進事業 …3,000万円

- 教育費**
- ▼小学校耐震改修事業 …4億7,826万円
- 土木費**
- ▼都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業…1億1万円
- 農林水産業費**
- ▼県営ふるさと農道整備事業(小波田地区) …7,245万円